

1. 土地の有効利用の推進

自然環境や田園風景と調和のとれた開発が行われるよう、総合的・計画的な土地利用を進めます。

町内の土地の乱開発を防止するため、「開発指導要綱」の策定を検討するとともに、「農業振興地域整備計画」の策定と、それに基づいた開発を進めます。

また、地籍調査事業は、旧町の調査方針を踏襲しながら調査計画を策定しますが、事業の進捗を図るため森林組合への事業委託を進めて調査の早期完了を目指します。

2. 道路網の整備

道路網の整備については優先順位を慎重に検討して県等関係機関へその実現を要望していきます。

計画的な道路網の整備を行うことにより、狭隘区間の解消による住民の安全性・利便性の向上に努めます。

集落間及び集落内の狭隘区間の解消については、地元と十分協議して推進することを原則とします。

各集落の振興・安全対策、また、通勤・通学や日常の生活を支えるための道路網整備の観点から、特に天萬丸山線・諸木鶴田線・賀祥今長線・中尾原線・清水線・大池線・入蔵線、天萬寺内線・上野線・池野線の町道改良・整備を重点的に検討して進めます。

主要地方道溝口伯太線及び一般県道米子岸本線、主要地方道西伯根雨線、一般県道福頼市山伯耆大山停車場線、一般県道福成戸上米子線は、町内の区域を縦・横断する生活幹線道路として重要であり、幅員の狭隘区間の解消促進と自歩道等の改良整備など、地区住民との調整を図りながら、県に対して事業化を要望します。

一般国道180号は、山陰自動車道及び山陽地域へ通ずる生活・産業幹線道路であり、町内での「バイパス事業」の促進を県と協力して進めます。

また、路線内のトンネル修繕についても早期完成を図るとともに、通行人・自転車の安全確保のため、自歩道の整備も併せて県に協力を求めます。

3. バス路線の確立

利用状況や乗降調査などの結果を検証しながら、路線変更・割引施策などを今後も慎重に検討します。

循環バスは合併前の西伯町と会見町を結ぶ公共交通機関がなかったことから合併の目玉事業として設置したので、できるだけ多くの町民の利用が図られるように絶えず路線やダイヤの検討を行います。

また、既存の定期バス路線と連携を考慮し、医療機関への通院手段の確保をはじめとして、行政機関・福祉施設・町内商店などが利用できる運行を実施します。

循環バスの運行は効率のよい運行を目指すとともに、定期バス・循環バス利用者の利便を考え、西伯地区では法勝寺集落から両長田方面、及び会見地区では宮前集落から旧賀野村の地域においては、手を上げれば乗り降りできるような自由な乗車（フリー乗車）化の実施を継続的に検討します。

既存のバス路線については、国の補助制度などを活用して存続に努力します。

4. 情報化基盤の整備

整備される情報基盤を、緊急通報体制や独居老人世帯との交流ができる体制など、医療・福祉の分野など幅広い活用を進めます。

情報通信環境の整備により、役場に出かけなくても用事が済むような「電子町役場」を目指すとともに、情報の共有化等を進めるため、庁内情報通信網を整備するなど電算設備の統合を図り、便利で迅速な町政を目指します。

地上波の鮮明な高画質のデジタル化に留意した有線放送（ケーブルテレビ）の活用を図りながら、行政チャンネル（仮称）の利用による公共サービスの高度化と簡素化を進めます。

また、電子地図など地理情報の提供体制を整えて、情報をより広く、より早く利用できるよう取り組みます。

「鳥取県情報ハイウェイ」の利用を検討し、より一層の情報通信環境の整備を進めます。

そして、今最も有効的な情報提供の場である南部町ホームページ作成については、誰もが見やすく、利用しやすいものとなるよう心がけます。